

## II 相模原市図書館の現状と課題

### 1 図書館施設及び整備網

#### 【現 状】

相模原市の図書館は、市立図書館、相模大野図書館、橋本図書館の3図書館と、相武台分館が整備されています。

これらの図書館は、市内にある25の公民館等図書室、関連3施設\*1と一体となった「図書館ネットワークシステム」を構築しています。

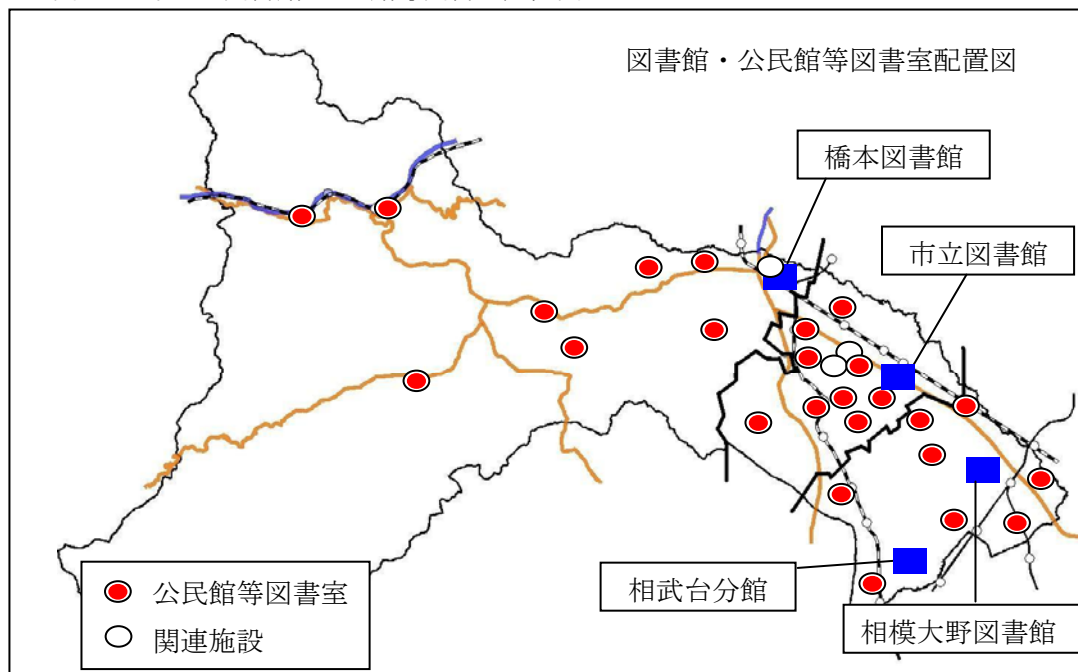
<図1参照>

<表1> 平成20年度蔵書冊数  
(単位:冊)

館名	蔵書冊数
市立図書館	339,008
相模大野図書館	272,352
橋本図書館	273,886
相武台分館	44,818
公民館等図書室	434,844
関連3施設	31,786
合 計	1,396,694

この図書館ネットワークシステムにより、市民の身近な図書館・図書室のどこでも、約140万冊の蔵書(平成21年3月末)の貸出や返却、取寄せなどが行える体制を整えています。<表1参照>

<図1> 市立の図書館・公民館等図書室配置図



\*1 関連3施設… 保健と福祉のライブラリー、ソレイユさがみ情報コーナー、総合学習センター図書閲覧室のこと。

## 【課題】

### ■ 市立図書館の再整備と中央図書館<sup>\*2</sup>機能の確立

市立図書館は、築35年を経過し、経年劣化による施設の老朽化が進んでいるため再整備が必要となっています。

また、中央区の地域図書館<sup>\*3</sup>としての役割に加え、市民のニーズに応える図書館施策を総合的に企画推進する中央図書館機能を備えることが求められています。

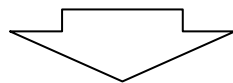
### ■ 地域図書館の位置付けと緑区の図書館網の整備

図書館サービスを効率よく全域で進めるためには、図書館組織の体制づくりが必要となります。

緑区では、橋本図書館を区内の図書館・公民館等図書室を支援する地域図書館として位置付けるとともに、市民により身近な図書館サービスを提供する区内の図書館網の充実が必要です。

中央区では、『新世紀さがみはらプラン』で新設が示されている上溝地域図書館を整備することが求められています。

南区では、相模大野図書館を地域図書館として位置付けるとともに、老朽化が進む相武台分館の在り方の検討も課題となります。



## 【取組みの方針】

市民が、だれでも、どこに住んでいても、図書館サービスを利用できるように、図書館環境の整備に努めます。

- 中央図書館機能を確立し、市立図書館を中央図書館として再整備します。
- 上溝地域図書館を、地域図書館として整備します。
- 津久井地域の図書館機能の在り方を検討し、緑区内図書館サービス網の充実を図ります。
- 相武台分館の在り方の検討を進めます。

<sup>\*2</sup> 中央図書館… 図書館網の中心となり、管理機能だけでなく、自館の資料収集機能やサービス提供機能に加え、専門的職員の確保・育成、他館との連携・支援など図書館施策を総合的に企画推進する機能を有する図書館

<sup>\*3</sup> 地域図書館… 地域住民の身近なところにあり、住民の求める資料を提供し、レファレンスサービス\*(P7)等を行う図書館

## 2 図書館サービス

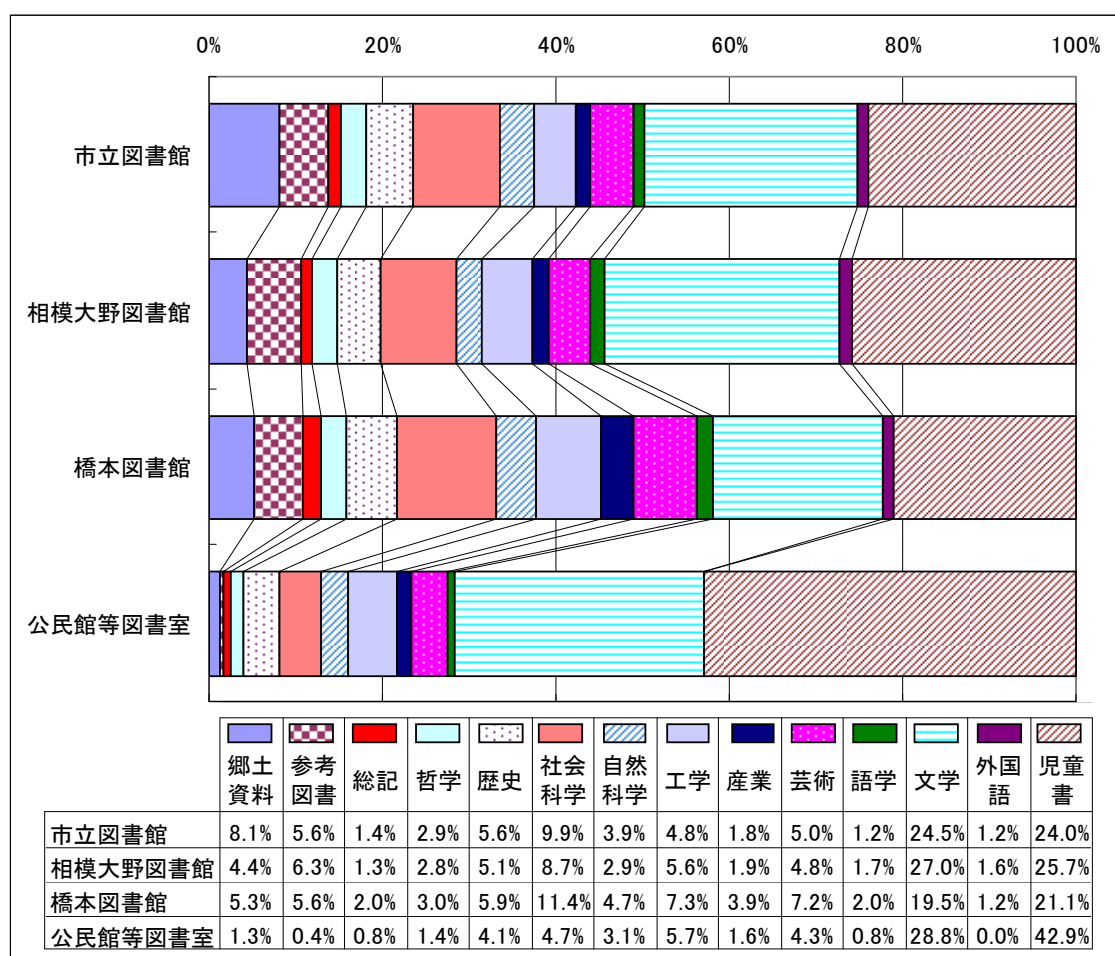
### (1) 資料収集と蔵書状況

#### 【現 状】

図書館資料の収集は、市立図書館が郷土資料、相模大野図書館が児童書、橋本図書館が経済・産業、そして公民館等図書室では児童書などと、各館の蔵書に特色を持たせるように進めてきましたが、蔵書構成割合を比較してみると、表2のとおり際立った特色は見えにくくなっています。図書館利用者からは、専門書や、学習・調査・研究に必要な参考図書\*4が不足しているとの声があり、市民アンケート\*5でも専門書に対する要望が多く見られます。

収集した資料は、閲覧・貸出に供するため保存・管理されていますが、3図書館の書架はすでに飽和状態にあり、このままでは蔵書の充実に支障をきたし、市民の資料要望に的確・迅速に応えることが難しくなります。

<表2> 平成20年度 分類別蔵書構成割合



※公民館等図書室は、25室の合計

\*4 参考図書… 辞(事)典、年鑑、便覧等で、通読するのではなく必要な箇所だけを読めばよい資料のこと。

\*5 市民アンケート… 平成20年7月に図書館が実施した「相模原市の図書館・図書室に関するアンケート(郵送)」及び「相模原市図書館・図書室利用者アンケート」のこと。

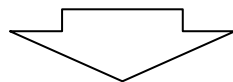
## 【課題】

### ■ 市民ニーズに応える蔵書構築

各図書館では、資料に対する市民ニーズをとらえた中で、特色ある資料収集を進めながら、豊富で多様な蔵書の構築を図ることが必要です。

### ■ 資料保存機能の充実

図書館が積極的に資料収集を進め、永続的に資料や情報の提供を行うためには、図書館資料を適切に保存・管理する機能の充実が早急の課題となっています。



## 【取組みの方針】

本市の特性をとらえ、市民の資料要求に応える資料収集を効果的・効率的に行い、市民の読書を推進し、学習を豊かなものとする豊富な蔵書を備えます。

- 参考図書や専門書をはじめ、質、量ともに充実した蔵書構築を目指します。
- 3図書館それぞれの特色を生かした資料収集に努めます。
- 市民の求める資料が適切に保存・管理できる機能の充実を図ります。

## (2) 利用状況

### 【現状】

図書館資料の貸出しを受けるための利用登録者数は年々増加しています。その構成を年齢別で見ると、19～29歳の占める割合が他の年齢層と比較して多くなっています。また、60歳以上の割合は増加傾向にあり、高齢者の図書館利用が増えていることがわかります。

一方、平成20年度に行った市民アンケートでは、1年間に図書館を利用していない人の割合が6割を占めており、図書館が行っている取寄せやリクエスト、レファレンスなどのサービスを知っている人は5割に満たない結果となっています。

<表3> 登録者数の年齢別構成割合

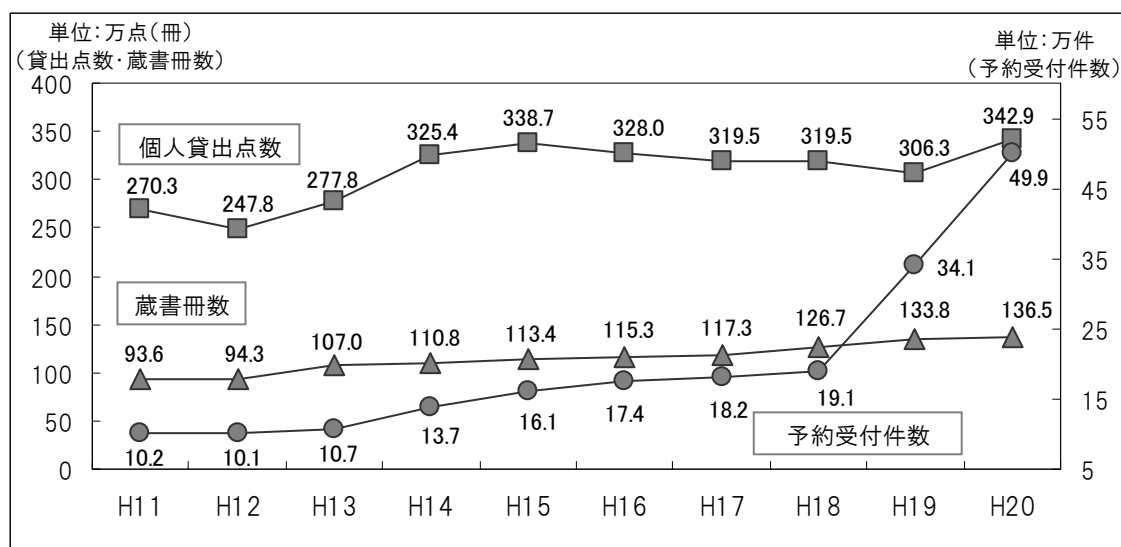
(単位:%・人)

	6歳以下	7～12歳	13～18歳	19～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	登録者数
平成16年度	2.4	9.4	11.0	23.8	17.9	13.4	10.4	11.7	229,510
平成18年度	1.7	8.1	10.8	24.1	18.2	14.0	9.8	13.3	278,126
平成20年度	1.4	7.1	10.1	23.5	18.4	15.1	9.3	15.1	322,647

個人貸出点数は、表4のとおり減少する傾向にありましたが、平成19年9月のインターネット予約の導入と、平成20年4月の津久井地域6図書室のネットワーク化\*6によって増加に転じました。

予約件数は、インターネット予約導入後に急増し、平成20年度は導入前の2.6倍に増加しました。

<表4> 図書館利用状況の推移(個人貸出点数、蔵書冊数、予約受付件数)



※H19年度にインターネット予約を導入、H20年度に津久井地域6図書室の蔵書を公開

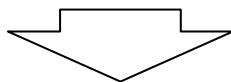
**【課題】**

■ **図書館利用の拡大に向けた取組みの必要性**

図書館ホームページや新聞、地域情報誌など多様なメディアを活用し、あらゆる機会を通して、図書館サービスのPRが必要です。

■ **年齢層に応じた図書館サービスの展開**

市民のライフステージやニーズに応える図書館事業の実施が必要です。



**【取組みの方針】**

図書館の利用促進のため、図書館の機能を市民に周知し、年齢層に応じたサービスを提供します。

- 図書館未利用者への積極的な働きかけに努めます。
- 年齢に応じた図書館サービスを推進します。

\*6 津久井地域6図書室のネットワーク化…平成18年度、19年度の4町(城山町、津久井町、相模湖町、藤野町)との合併に伴い、図書館ネットワークを拡大したもの。6図書室とは、城山公民館、津久井中央公民館、串川ひがし地域センター、青野原図書室、桂北公民館及び藤野中央公民館の図書室

### (3) レファレンスサービス

#### 【現 状】

レファレンスサービスは、利用者の相談に応じて、必要とする資料や情報を提供し、学習や調査・研究の支援を行うサービスで、利用者と資料を結びつける図書館の重要な業務です。

平成20年度のレファレンスサービス件数は表5のとおり3万件を超え、その内容は年々高度で難解なものが増えています。このため、職員研修の実施により、司書をはじめとした図書館員としての能力向上に努めるとともに、専門的な資料要求に対応するため、市内の大学図書館等との連携を図っています。

一方、情報化の進展に伴い、利用者がインターネット等により情報を直接取得できる環境整備も必要となっており、表6のようにインターネット接続端末及びCD-ROM閲覧用機器を設置しています。

＜表5＞ レファレンスサービス受付件数(H20年度)

	レファレンス		
	窓口	電話等	合計
市立図書館	9,775	1,814	11,589
相模大野図書館	10,275	1,454	11,729
橋本図書館	6,847	535	7,382
相武台分館	2,979	158	3,137
合計	29,876	3,961	33,837

＜表6＞ インターネット機器等設置状況及び利用実績(H20年度)

	インターネット端末		CD-ROM用機器	
	設置台数	利用回数	設置台数	利用回数
市立図書館	2台	6,591	1台	97
相模大野図書館	4台	10,650	1台	73
橋本図書館	20台	16,363	1台	70
相武台分館	1台	1,105	—	—
合計	27台	34,709	3台	240

橋本図書館では、レファレンスサービスの一環として、起業や就労を目指す人を対象にビジネス支援サービスを関係機関と協力し、実施しています。

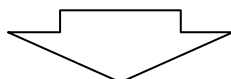
## 【課題】

### ■ 専門職員の確保と育成

市民の幅広い学習や調査・研究ニーズの高まりに的確に応えるためには、多角的な視野からの様々な知識や情報が必要となります。このため、図書館サービスを担う司書等専門職員の確保と育成が必要です。

### ■ レファレンスツール<sup>\*7</sup>の充実

利用者の求めに応じて、必要な資料や情報を提供するためには、参考図書に加え、電子媒体など各種情報ツールの充実が必要です。また、レファレンス事例のデータベース化や、索引作成など自館資料の充実も求められます。



## 【取組みの方針】

地域の情報拠点となり、市民生活や地域の課題解決に役立つ図書館を目指します。

- 司書等専門職員の確保及び育成に努めます。
- レファレンスツールの充実に努めます。

## (4) 児童・青少年サービス

### 【現状】

児童サービスでは、読み聞かせ等ボランティアを養成し、協働によりおはなし会を開催しています。保護者と一緒の乳幼児向けおはなし会の参加者数は増加していますが、小学生のおはなし会への参加は減少する傾向にあります。

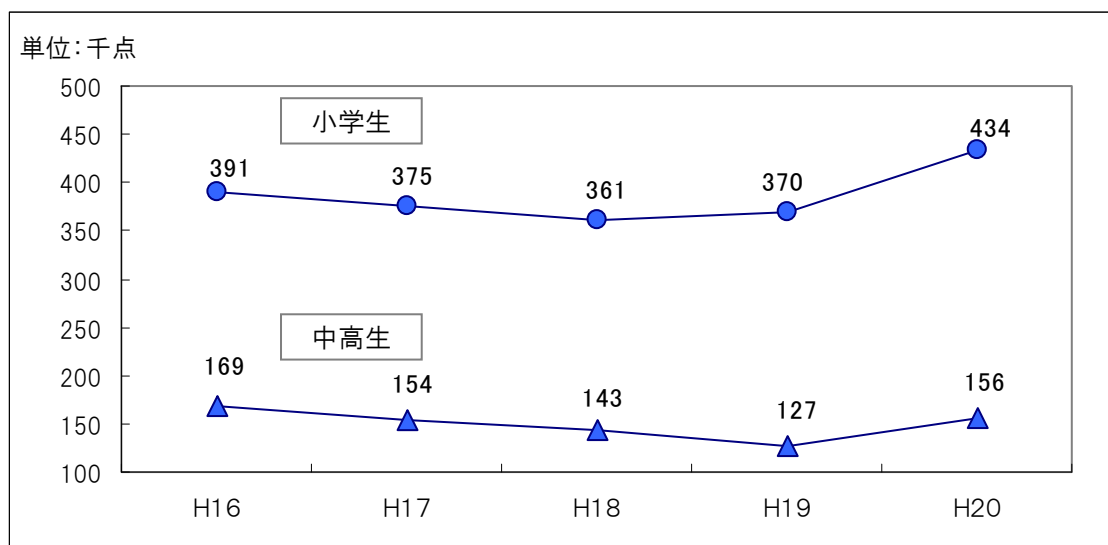
小中学校との連携では、図書館の利用促進のため、『学校向け図書館利用ガイド』を作成・配布し、団体貸出や職業体験・調べ学習などの受入れを行っていますが、利用する学校は少ない状況にあります。

青少年（ヤングアダルト）に対するサービスとして、3図書館とも、特設コーナーを設け、その年齢に配慮した読み物や、社会参加への準備に必要な資料等を提供していますが、表7のとおり中高生の利用は小学生と比較して少なく、その約3分の1となっています。

また、子どもの読書活動の推進にかかる具体的な施策については、「子どもの読書活動の推進に関する法律」（平成13年施行）に基づき、『相模原市子ども読書活動推進計画』を平成17年に策定し、関係機関と調整を図りながら、実践してきましたが、見直しの時期を迎えています。

\*7 レファレンスツール… レファレンスサービスに必要な資料や情報源のこと。

<表7> 小学生・中高生別貸出点数の推移



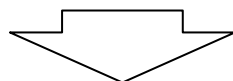
【課 題】

■ 家庭教育支援事業への協力、学校教育との連携の充実

子どもたちの読書活動を支援するには、家庭教育支援事業への協力や、学校や学校図書館との連携が必要です。

■ 子どもたちの読書活動の推進と図書館利用の促進

『相模原市子ども読書活動推進計画』の成果を評価・検証し、学校や保育園・幼稚園等との連携により、さらなる施策推進のため計画の改定が必要です。



【取組みの方針】

子どものニーズに合ったサービスが提供できる体制づくりを進めます。

- 親子で参加できる事業など、家庭教育支援事業に取り組みます。
- 学校及び学校図書館との連携を進めるとともに、学校図書館支援センター\*8機能について検討します。
- 児童書の充実と図書館利用の促進に努めます。
- 『相模原市子ども読書活動推進計画』を改定し、事業を推進します。

\*8学校図書館支援センター… 学校図書館の機能の充実・強化を図るため、学校図書館の活用や運営に対して指導・助言等を行う施設のこと。学校図書館間の連携や、学校図書館運営及び図書館資料の選定・収集等の支援を行う。



## (5) 障害者サービス

### 【現 状】

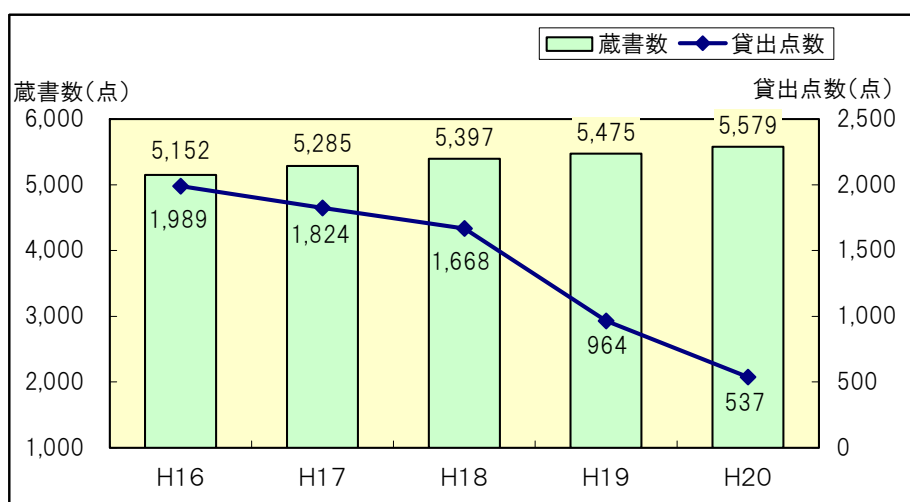
障害者向けのサービスでは、現在のところ、録音図書や布絵本、字幕付きビデオなどを収集しています。録音図書については、カセットテープが主流であったため、一作品を構成する巻数が多いことに加え、資料収集が不十分であったことなどから、表8のとおり利用は減少しています。

また、点字図書や新しい媒体であるDAISY（デイジー）<sup>\*9</sup>図書などは未収集です。貸出方法としては来館のほか、郵送やボランティアとの連携による宅配を行っています。対象者への情報提供が十分とはいえない状況にあります。

設備では、相模大野図書館と橋本図書館に対面朗読室があり、相模原市録音奉仕会の協力により、対面朗読サービスを実施しています。〈表9参照〉

また、3図書館には、館内に拡大読書器が設置されています。

〈表8〉 録音図書蔵書数と貸出点数の推移



〈表9〉 録音図書蔵書数と対面朗読実績(H20年度)

図書館	登録者数 (人)	録音図書蔵書数 (点)	対面朗読 (件)
市立図書館	27	1,807	—
相模大野図書館	24	2,041	62
橋本図書館	34	1,731	12
合計	85	5,579	74

※市立図書館では視聴覚ライブラリーのスタジオを利用して、H21年度から対面朗読を実施

<sup>\*9</sup> DAISY(デイジー)・・・ Digital Audio-based Information System(デジタル音声情報システム)の略。DAISY録音資料は、劣化が激しく使い勝手が悪いカセットテープに代わり、CD-ROMを媒体として製作されることが多い。再生には専用機器が必要

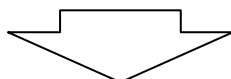
## 【課題】

### ■ 障害に応じた資料の収集や提供方法の検討

障害のある人のニーズに応じたサービスを提供するため、点字図書やDAISY図書の収集を含めた資料の充実と提供方法の検討、利用者へのPRが重要となります。

### ■ 利用者のニーズに対応できる、関係機関等との連携体制づくり

視覚障害のある人へのサービスを行っている保健と福祉のライブラリーや関係団体との連携強化を図り、利用者のニーズに対応できる体制を整える必要があります。



## 【取組みの方針】

関係団体やボランティアと連携し、障害に応じたサービスの充実に努め、来館が困難な利用者のため、資料の提供体制を整えます。

- 障害のある人のための資料を積極的に収集し、充実に努めます。
- 利用者のニーズに応えられるサービス体制を整えます。
- 関係団体等と連携を図り、利用促進のため積極的なPRを行います。

## (6) 高齢者サービス

### 【現状】

本市の人口に占める高齢者の割合は、約18.3%（平成21年3月31日現在）となっており、図書館利用登録者に占める60歳以上の割合は、5ページの表3にもあるように、年々増加する傾向にあります。

図書館では、高齢者向けに、大活字本や朗読CDの資料収集を行っていますが、表10のとおり、3図書館の蔵書数全体に占める大活字本の割合は0.4%程度にとどまっています。館内設備としては老眼鏡を常備したり、書架サインの文字を大きくするなどの工夫を行っていますが、高齢者からは館内でゆったりと読書をするための場所や、閲覧席を増やして欲しいという声も少なくありません。

<表10> 大活字本、朗読CDの平成20年度蔵書数 (単位:冊・点)

	市立図書館	相模大野図書館	橋本図書館	合計
大活字本	1,117(0.3%)	1,293(0.5%)	1,088(0.4%)	3,498(0.4%)
朗読CD	205(1.7%)	177(1.8%)	218(1.6%)	600(1.7%)

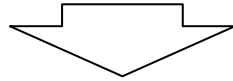
※朗読CDの蔵書割合は、視聴覚資料に占める割合

## 【課題】

### ■ 高齢者が利用しやすいサービスの提供

高齢者の利用の増加が見込まれる中、ニーズに合った資料収集や提供方法の工夫など、利用しやすいサービス提供の取組みが求められます。また、館内施設・設備への配慮も必要です。

さらに、高齢者が地域社会へ参加する場の提供や余暇活動を支援する役割が図書館に求められています。



## 【取組みの方針】

高齢者を対象としたきめ細かなサービスの提供に努めます。

- 高齢者に適した資料の充実、幅広い情報サービスの提供に努めます。
- 高齢者にやさしく、使いやすい施設・設備の充実を図ります。
- 高齢者施設等と連携したサービスの充実を図ります。
- 生きがいや居場所づくりのための事業の開催や交流の場を提供します。

## (7) 多文化サービス<sup>\*10</sup>

### 【現状】

国際化が進む社会の中で、本市の外国人登録者数も増加する傾向にあり、国籍別では中国、韓国・朝鮮が多くなっています。

3図書館での外国語図書の蔵書数は、平成20年度末で約12,000冊であり、その他に外国語新聞や雑誌の購入をしています。資料収集では、中国語、韓国・朝鮮語、英語の図書は3図書館で行い、その他の言語については、各館が分担して収集しています。これらの資料は、外国人市民<sup>\*11</sup>を対象としているのと同時に、日本人の外国語の学習や、異文化理解等にも利用されています。

外国人市民向けの情報提供としては、利用案内をはじめ様々な情報を多言語により発信している自治体もありますが、本市では、英語による利用案内の発行にとどまっています。

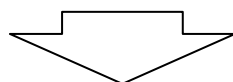
<sup>\*10</sup> 多文化サービス… 在住外国人を対象としたサービスのこと。また、国際化に対応した住民相互の異文化理解に役立つサービスも含む。

<sup>\*11</sup> 外国人市民… 外国籍の市民だけでなく、国籍が日本であっても外国文化を背景に持つ市民も含む。

## 【課題】

### ■ 多文化サービスの充実

国際化に対応した積極的な取組みが求められます。資料収集に当たっては、利用者の資料要望を把握するために、利用動向の観察が重要となります。職員の語学力等も求められるため、関係機関との連携やボランティアとの協働を図りながら、資料の充実や多言語による情報の発信等、積極的な取組みが必要です。



## 【取組みの方針】

外国人市民が気軽に利用できる図書館環境の整備に努めるなど、社会の国際化に適応した図書館サービスを積極的に進めます。

- 外国人市民のための資料を充実します。
- 関係機関やボランティアと連携し、多言語での情報発信を行います。

## (8) 視聴覚サービス

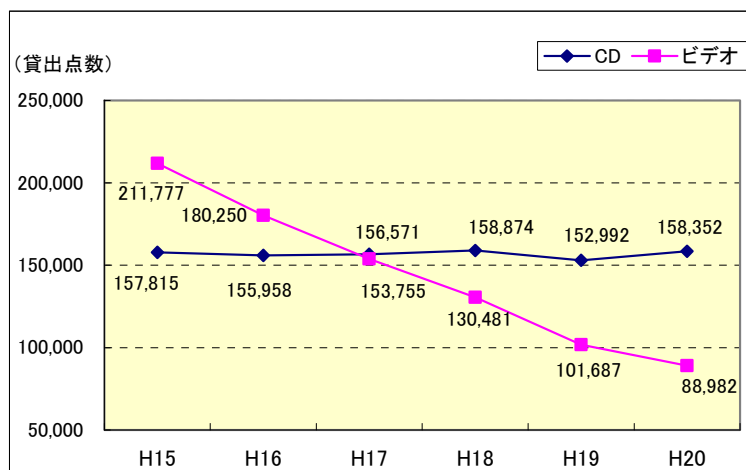
### 【現状】

図書館では、視聴覚資料を収集し、館内での視聴や貸出サービスを行っています。利用状況は、表11のとおりCDは横ばいで、ビデオについては年々減少する傾向にあります。

また、館内視聴のみを行っていたDVDについては、平成21年12月から、3館同時に貸出サービスを開始しました。

市立図書館に併設の視聴覚ライブラリーでは、16ミリフィルムを含め映像資料の貸出サービスを行っており、貸出しに当たっては、機材ともども学校や福祉施設等への宅配サービスを展開しています。

＜表11＞ 視聴覚資料貸出点数の推移



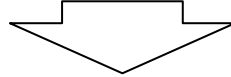
### 【課題】

#### ■ 市民ニーズに対応した視聴覚資料の収集、保存、提供

技術革新により媒体が著しく変化する中で、市民ニーズにあった視聴覚媒体の資料収集や提供体制が求められています。

#### ■ 図書館と視聴覚ライブラリーによる視聴覚サービスの一体化

視聴覚資料は、図書館と視聴覚ライブラリーでそれぞれ個別に貸出サービスを行っていますが、一体的なサービスが求められています。



### 【取組みの方針】

図書館と視聴覚ライブラリーのサービス内容について一体化を図り、市民にわかりやすい提供体制の確立に努めます。

- 市民ニーズに対応した視聴覚資料の収集と提供体制を充実します。
- 図書館と視聴覚ライブラリーのサービス体制の一体化を進めます。

## (9) 集会・文化活動の支援

### 【現状】

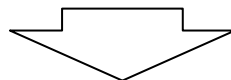
図書館では、市民の調査・研究、読書活動の支援や、図書館利用の促進を目的として各種講座やイベントを開催しています。

また、市立図書館では、市民の自主的な学習活動や読書会、文化活動等の場として、集会室を貸し出しています。

### 【課題】

#### ■ 生涯学習の機会、発表の場の提供

市民が読書活動などを通して学んだ成果を発表する場の提供や、学習の成果を活用する仕組みづくりが求められています。



### 【取組みの方針】

市民の生涯学習の機会や活動・発表の場などを提供します。

- 市民の学習を豊かなものとする講座の開催や、学習の成果を発表する場を設けます。

### 3 運営体制

#### 【現 状】

相模原市の図書館は、市立図書館及び相武台分館については直営で運営していますが、相模大野図書館と橋本図書館は窓口業務の一部を民間に委託しています。公民館等図書室については、公民館及び各機関が主体となり運営しています。

相模原市立図書館条例では、3図書館は並列に位置付けられていますが、市立図書館は相模大野図書館や橋本図書館との連絡調整の役割を担っており、図書館法第14条の図書館協議会<sup>\*12</sup>は、市立図書館に置かれています。

#### 【課 題】

##### ■ 市民との協働による図書館サービスの推進

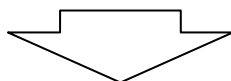
市民と行政のパートナーシップに基づき、図書館サービスの効果的な実施に向けてさらなる市民ボランティアの参加が求められています。

##### ■ 効率的な図書館運営の検討

相模大野図書館や橋本図書館の委託業務の評価・検証により、市職員が担う業務と、委託化等により効率性を高めることができる業務を見極めた図書館運営が求められており、司書や図書館業務に精通した職員の確保・育成が必要です。

##### ■ 図書館運営の自己評価システムの確立と市民への公表

市民により良い図書館サービスを提供するため、図書館運営に関する自己評価システムを確立し、評価結果等を市民へ積極的に公表することが必要です。



#### 【取組みの方針】

図書館のより良い運営体制を構築し、市民とともに発展し成長する図書館を目指します。

- 市民との協働による新たな図書館サービスを創造し、推進します。
- 効率的な図書館の運営方法を確立します。
- 図書館の運営状況を自己評価するシステムを確立します。

<sup>\*12</sup> 図書館協議会… 図書館の運営に関し館長の諮問に応じるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関

### Ⅲ 基本的な考え方

#### 1 基本理念

さがみはら教育が培ってきた「人が財産(たから)」の理念をうけ、この計画では、図書館の使命を資料・情報提供による「人づくり」ととらえ、市民の「知の拠点」として“市民や地域に役立つ図書館”を基本理念とします。

#### 2 基本目標

“市民や地域に役立つ図書館”を実現するために、相模原市の図書館の現状と課題を踏まえ5つの基本目標を定めます。

